

2023 Annual Report

年次報告書

特定非営利活動法人 長野県 NPO センター

ビジョン・ミッションを実現するための4つのアプローチから、2023年度を振り返ります



Vision ビジョン

みんなで100年先も暮らしたい長野県にしよう！

Mission ミッション

信頼される社会の変革者として、人と地域の参加・協働を創り出す

持続可能な 地域づくりのための パートナーシップ促進

協働が生まれやすい環境づくりを通して、行政・教育機関・企業・地域など、さまざまな主体同士の連携を促し、課題解決を目指しています。

災害支援事業

被災者支援のための協働「被災者支援コレクティブインパクト」の実現に向けて、休眠預金等活用事業・内閣府のモデル事業などを活用し、さまざまな事業に取り組んでいます。特に、行政や社会福祉協議会、NPO・企業・大学などの多様な民間支援を結集するための「被災者支援スタンダード（被災者支援のための共通目標）」や「被災者支援連携図」といった仕組みづくり、地域人材の育成やネットワーク化などを重点的に進めています。

これらの事業により、県内で災害が発生したとしても、適時適切な支援とつながることで命が守られ、人としての尊厳や地域の誇りを失うことなく、生きる希望を持ち続け、早期に生活再建が果たせる「災害に負けないレジリエンスな地域」を目指します。



災害時における被災者支援のための協働 被災者支援コレクティブインパクトの実現



被災者のニーズ
に合わせた支援

(相乗効果)

○適時適切な支援とつながることで命が守られ、人としての尊厳や地域の誇りを失うことなく、生きる希望を持ち続け、早期に生活再建が果たせる地域になっている。

✓ 多様な主体の特性を活かすことでより高い効果を得る。

※N-NET(長野県災害時支援ネットワーク)：長野県域の災害中間支援組織

SDGs 推進、教育機関との協働事業

センターのミッションである「人と地域の参加・協働を創り出す」ことを実現するため、SDGs の推進に関連した講座やカードゲームを通して、社会と地域の課題を「自分のこと」として気づき、考え、動き出す機会を提供しています。

2023 年度は、中学 2 校と高校 4 校での学校講座、長野市・佐久市・松本市で地域講座を行いました。

講座の様子やSDGs に関連する取組は紙面にまとめ、「SDGsコネク ト信州NEWS」として年間 20 件を掲載しました。また、(一社)SDGs 市民社会ネットワークの、「SDGs 取り組みに関する NPO 市民活動団体の全国調査」に委員として参画。全国の SDGs 推進団体と連携して調査、ヒアリング、フォーラム開催等に携わりました。



地域循環共生圏推進事業

(信州環境カレッジ協働講座・信州地域における協働取組の促進のための事業)

持続可能な地域を実現するためには、日々の暮らしの中で「できること」の見える化や、「やってみたい」と思わせる仕掛けが必要です。

信州環境カレッジ協働講座では、全 3 回の「親子で SDGs 講座」を開催し、太陽のエネルギーをソーラーカーで集めて活用するサンキャッチャーや、自分の買い物かどのような影響を与えるかを考えるエシカル消費について学びました。

環境省中部環境パートナーシップオフィスからの委託事業では、課題解決と持続可能な地域づくりに向けた新たな「つながり・共創」を生み出すことを目的に、「食育と農による持続可能な地域づくりを考えるワールドカフェ」と「草刈りバスターズ」をテーマにした交流会を実施しました。

NPO 広報発信事業 (長野市民新聞/ナガクルサイト運営)



市民の社会活動への関心を高め、参加を促すことなどを目的に、長野市民新聞「市民と NPO のひろば」でのイベント案内、ナガノの課題と NPO をつなぐポータルサイト「ナガクル」での情報発信をしています。



ナガクルは 2023 年度、ソーシャルライターによる NPO の取組や市民活動の取材記事など計 46 本を掲載。サイトアクセス件数月平均 3,370 件、年間では 40,435 件となり、2019 年度からの累計は 14 万 2 千件になっています。毎月、新記事の紹介と気になる話題などをまとめてメールマガジンで配信し、取材先や関係者とのつながりを保っています。



▲協働講座での楽しかった経験と成果を発表し、互いをほめ合った子どもたち。

佐久市市民活動サポートセンター受託事業

年間のセンター利用者総数 **10,643人**



「支える」「つなぐ」「広める」3つの役割を通して、市民活動団体やNPO、地域のために活動する市民のみなさんを応援します。「支える」では市民活動に役立つ講座の企画運営、「つなぐ」では交流会の開催、「広める」ではいろいろな主体と一緒に取り組む協働の事例や市民活動の情報発信をしています。佐久地域の多様な活動や主体をつなぐ場として、市民活動団体をはじめ教育機関や企業等、多くの方々にご利用いただいています。行政との対等なパートナーシップに基づき公設民営で協働を推進するセンターの先進事例として、他自治体からの視察受入れも行っています。



▲ さくさぼフリースペースでのPTAおしゃべり会



▲ 望月地区での交流会には多世代が参加

1

「支える」

- ・市民活動、協働に関する相談対応件数 — **250** 件
 - ・市民活動講座 **2** 回
 - ・情報発信講座 **2** 回
 - ・組織運営講座 **1** 回
- 講座参加者数合計 **78** 人

2

「つなぐ」

- ・交流会 **2** 回
- ・対話イベント、おしゃべり会等 **10** 回
- イベント参加者合計 — **247** 人
- ・相談案件のうちコーディネートを含む件数 — **45** 件

3

「広める」

- ・機関紙「さくさぼ」発行 市内全戸配布/年 **4** 回発行
- ・ホームページビュー数 — **48,648** 件
- ・Facebook リーチ数 — **23,987** 件
- Instagram リーチ数 — **267,005** 件

市民協働サポートセンター(長野市)受託事業

年間のセンター利用者総数 **6,404人**



「出会う つながって コラボしよう!!」を合言葉に、協働が生まれる未来創造拠点として「出会う・つながる」「伝える」「相談する」「知る・学ぶ」の4つの機能をさらに充実させるための取組みを実施しました!

1

「出会う・つながる」
団体のネットワークの強化・拡大

- ・NPOカフェまんまる — 9回 合計 **298** 人参加 (テーマ別交流会: 性の多様性、平和、寄付など)
- ・まんまるサロン — 19回 合計 **136** 人参加 (作業を取り入れた交流の場)

2

「伝える」情報の受発信業務

- ・機関誌まんまる発行 — 毎号 **1,700** 部 1年4回発行 (市内各所に配架)
- ・ホームページアクセス数 — **76,212** 件
facebook 73,692件 Instagram 10,392件
- ・市民活動を紹介する新企画 — 計5回 再生回数 **481** 回
「まんまるYoutube」

3

「相談する」市民活動団体等の運営等
に関する相談とコーディネート

相談対応件数 — **247** 件
問い合わせ件数 — **5,246** 件

4

「知る・学ぶ」団体・個人の育成
各種講座の実施

- ・初歩講座 **3** 回
 - ・広報講座「Wordで広告をつくろう!」 **1** 回
 - 連続講座(助成金・組織運営)「NPOの資源を獲得する!」 **2** 回
 - 住民ディレクター講座「番組づくりは地域づくり」 **1** 回
 - 会計相談会 **1** 回
- 参加者数合計 **81** 人

トピック 地域まんまる地区自慢大会を10月に開催!

「おらほの自慢聞いとくらいっ!! よってたかつてほめっこしよう」



念願であった、市内住民自治協議会が一堂に会する地区自慢大会を開催しました! 89人の参加者が集まり、16地区の自慢の事業を共有しました!

お祭りや高齢者宅の見回り、ラジオ体操、暮らしのカレンダー、ホテルの保全活動など多様な活動が紹介され、地域の課題解決や魅力向上・発信に全力で取り組む地域の子カラを目の当たりした時間でした。「こんな活動があるんだ」

「素晴らしい活動で今後も維持してほしい」などたくさんの嬉しい感想が寄せられました。「他地区の活動はとても参考になる」「今後も継続してほしい!」という要望も挙がっています。



個人が地域・社会に参画するきっかけを創り出すことで、主体的に動く人を増やすとともに、孤立しがちな人たちと地域・社会との接点を増やしています。

ながの若者チャレンジ応援事業

2023年度新規事業!!

長野市から受託した「ながの若者チャレンジ応援事業」は、「若者に地域をより知ってもらい、主体性と自己肯定感を育むことで、地域への愛着の醸成や将来的な地元定着・回帰につなげるほか、若者がまちづくりにチャレンジしやすい環境を整え、支援することで、チャレンジできるまち「NAGANO」を体現し、生まれたアイデアからまちの賑わいの創出を図る」ことを目的に掲げ運営しています。

ながの若者スクエア「ふらっとり」

ふらっとり

何かを始めたい人の拠点。仲間づくりのための居場所。学生をはじめとした若者たち45人が、欲しい設備や活動内容検討の企画会議、名称の投票、改装DIYなどの全20回のワークショップに参画。2023年10月21日(土)もんぜんぶら座3階にオープンしました。

学生2人を含むコミュニケーターが在籍し、相談をはじめ交流や活動をサポートしています。また初年度は若者が中心となって合計29のイベントを開催。年度末までに新規登録で163人、累計601人が利用しました。イベントは「ふらっとり」の利用方法の話し合いやカンボジアで手洗いの大切さを伝える高校生の活動報告会、難民問題を描いた映画上映会など多岐にわたり、話題提供や課題共有の場として活用されています。



▲ どんな場所をつくりたいかの企画会議



▲ 「ふらっとり」でのイベント風景

ながの地域まるごとキャンパス



高校生・大学生などが地域活動や企業のCSR活動に参加。地域のさまざまな人や活動に出会い、共に考え行動することで、自分と地域の人たちとのつながりを感じる機会を提供しました。

活動プログラム数 / **37** 参加人数 / のべ**176**人(実数152人)

2023年度で6年目。活動後のアンケートでは、すべての人が「今後も地域活動に参加したい」と回答し、活動を通じて地域活動への関心・意欲が高くなる傾向にあることで、地域の担い手づくりにもつながると期待できます。

報告書
二次元コード



▲ 中条地区でのハロウィンイベントに参画



▲ 報告会には市長もかけつけました!

参加者の声

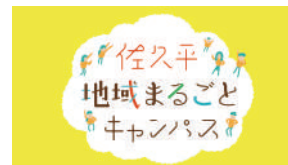
受入団体のみなさんが分け隔てなく接して下さり、自分のコミュニケーション能力の向上につながった

様々な年齢の人と関わることで、自分の価値観を広げることができた

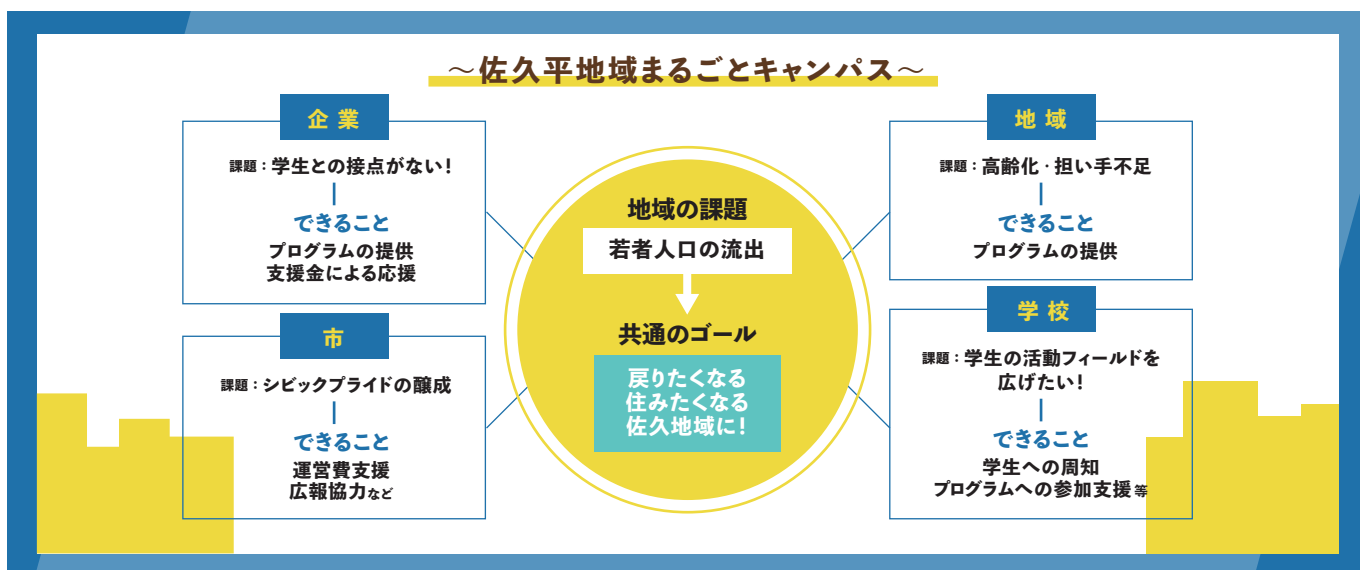


佐久平地域まるごとキャンパス

高校生、大学生等が、企業や団体が考案したプログラムに参加し、佐久地域のヒト・モノ・コトと繋がりチャレンジする学生応援プロジェクトを企画・運営しました。



活動プログラム数 / **19**プログラム 参加人数 / のべ**176**人(実数147人)



TOPIC1

佐久平地域まるごとキャンパスが令和4年度元気づくり支援金優良事例として長野県から表彰されました。



▲ 12月18日の表彰式

TOPIC2

「令和5年度長野県青少年健全育成県民大会」に参加し現状報告しました！

12月16日に「佐久平地域まるごとキャンパス事業～学生とつくる地域の未来～」というテーマで、企業・病院・学校・NPO等のプログラムに参加した高校生と事務局が活動報告しました。

TOPIC3

佐久平まるごとキャンパス事業継続のために協賛募集をスタート！

今後も、事業を盛り上げる「まるキャン学生アンバサダー」とともに、継続的に発展させていきます！ご協力をよろしくお願いします。



学びの拠点 fourth place

生きづらさを感じている高大学生や若者の居場所として開設。コーディネーターを配置して運営しました。同年代やシニアとの出会いもあり、勉強するもよし、おしゃべりしてもよし、昼寝するもよし?! 思い思いに過ごせる安心な場所を提供しました。

- 開設日 水～土 13:00～18:00
- 2023年度 延べ利用者 **282**人 相談件数 **40**件

- ・ シニアとのごはん会 **12**回
- ・ 変な大人の話聞く会 **6**回
- ・ 花植えや推し活など交流の機会を提供
- ・ 若者の生きづらさについて考える意見交換会 **2**回開催 のべ**50**人参加

報告書二次元コード



▲ おっかなびつくりのお料理



▲ いろんな大人がいるなあ～・・・

3年間運営してきましたが、2023年度末で閉鎖しました。今後は、2023年10月にオープンしたながの若者スクエア「ふらっとり」(前ページ参照)で若者たちの居場所づくりと活動づくりをしていきます。ご支援いただきました皆様ありがとうございました。詳細は上記「報告書二次元コード」からご覧ください。

信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援）

複合的な課題があり困難を抱えた状態の中にいる方々の生きる力を取り戻し、「生活の基本を整え、自分らしく働く」ための準備が整うように、多様な働き方・生き方の選択肢を提供しています。また、支援終了後も対象者が孤独・孤立に陥らないよう地域社会へのつながりを意識した支援を実施しました。

近頃は、困窮、ひきこもり、心身の不調、対人不安、コミュニケーションの課題、住居・家族の課題等複合的な課題を抱えており、直ちに就労することが難しいケースが主になっています。支援開始時から、こころの傷付き、経験の不足、特性等による自信喪失や生きづらさ、人間不信などの困難さがあるため、焦らず、本人のペースに合わせて、本人の自己決定を大切にしながら進めてきました。

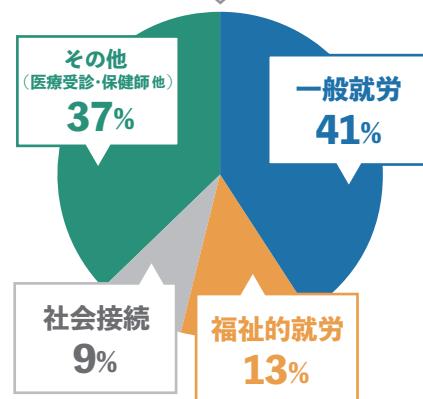
● 利用者の声

30代 女性
少し気持ちが楽になった。
少しずつ自分ができるんだと思えるようになった。

50代 男性
就労体験中も見守ってもらえる自信を持って、就労場所に行くことができました。

40代 男性
自分のペースで進めてもらえ、無理をしなくても大丈夫だった。

これまで(9年間)の支援の成果



アプローチ 3

社会変革のパートナー
となり得る組織への
コンサルティング

NPO等の組織づくり、事業戦略、財務、人材育成のトータルサポートをします。

他団体との協働事業

● 県内中間支援組織との協働

- ・長野県の中間支援組織ネットワーク会議への参画
- ・長野県長寿社会開発センター
高齢者の社会参加を推進するシニア大学専門コース講師

● 全国の中間支援組織との協働

- ・NPO法人CRファクトリー企画の「つよあたらイアランス」再構築運営メンバーとして参画
- ・日本NPOセンターと損保ジャパンの協賛による「SAVE JAPANプロジェクト」にて、NPO法人あすわーむとの協働で「親子で探検！牧場の生きものワールド」開催

● 子ども支援関係の協働

- ・信州子どもカフェ地域プラットフォームに世話人として参画
- ・長野市とNPOによる協働事業「ながの子ども子育てフェスティバル」に実行委員・事務局として参画
- ・長野市みらいハッケンプロジェクト地域コーディネーター



ソーシャルビジネスサポートながの事業

社会課題解決のために創業を考える方をサポートするネットワークを組み、隔月定例会での情報交換や具体的な相談に対応しました。

- ・相談件数 **2件** 相談回数 **12回**
- ・ソーシャルビジネスへの理解、創業の促進を目的としたセミナー（座談会）の企画

市民活動団体の支援事業

さまざまな市民活動に関する相談等

- ・運営に関する相談 **3件**・解散の相談と手続き支援 **2件**
- ・法人設立支援 **1件**・事務局支援 **3団体**

講師派遣・審議会委員等

〈講師派遣〉SDGs関連 **8件**・教育機関 **2件**・災害関連 **6件**・その他(行政、社会福祉協議会、地域など) **28件**
〈審議会等委員〉長野市 **6件**、佐久市 **2件**、長野県 **2件**

持続可能な
地域づくりに向けた
住民自治の実践支援

住民自治協議会(※)など地縁組織や行政と協働で、未来志向の住民自治の取り組みを進めます。

いもいりビングらぼ

運営全般支援

いもいりビングらぼは長野市芋井地区の地区内外の人が集まって、持続可能な地域づくりにつながるさまざまなアイデアを出し合い、実験的な取り組みをするラボという位置づけです。交流の場の企画や草刈りの担い手不足と関係人口創出の取り組みとして「草刈りバスターズ養成講座」などを生み出しています。長野県 NPO センターは取り組みそのものをファシリテーションし、資金調達も含めて協働しています。



▲ 颯爽と記念撮影

- ・ 地区の状況を知り、アイデアを形にするための定例会（7月・9月・12月）
- ・ 草刈りバスターズ養成講座(8月) 開催支援。広報とマニュアル作成 など

戸隠地域づくり協議会（農村 RMO※）



▲ 体操サロンのあとでお買い物

高齢化、過疎化、農業の衰退に悩む長野県内の中山間地のひとつ、長野市戸隠地区で、農水省が行う農村 RMO 事業の一環として、戸隠地域づくり協議会が発足。農用地保全・地域資源活用・生活支援の取り組みを行っています。その中で、生活支援のためのアンケート調査と実証実験のコーディネート等を行いました。

- ・ 事務局会議 参加 7 回
- ・ 戸隠みらい会議参加協力 2 回
- ・ アンケート項目作成
- ・ サロンや地区内イベント等でのアンケート調査とヒアリング 5 回
- ・ キッチンカー実証実験 キッチンカー業者コーディネート（移動販売つなぎ局） 3 回実施

豊野まちづくり委員会

令和元年東日本台風災害で被災した長野市豊野地区にて、住民有志で立ち上がったまちづくり委員会に参画。小さな実験的な取り組みを実施しながら、仲間づくりと地域活性化の糸口を見つける活動に対し、アドバイザーとして他県などの事例提供、事業の企画のノウハウを提供するなど伴走支援を行った。財源は真如苑救済ボランティア (SeRV) からの寄付金で実施しました。



▲ 豊野まちあるきの様子

- ・ 定例会月 2 回 そのための打合せ月 2 回
- ・ 豊野地区が被災した10月13日の4周年事業としてのまちあるき実施支援など

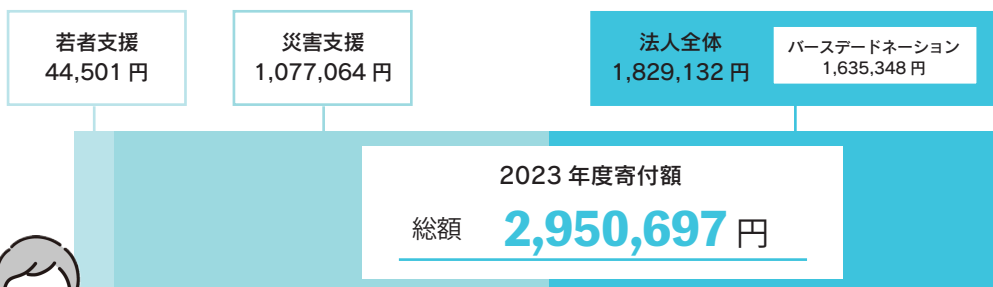
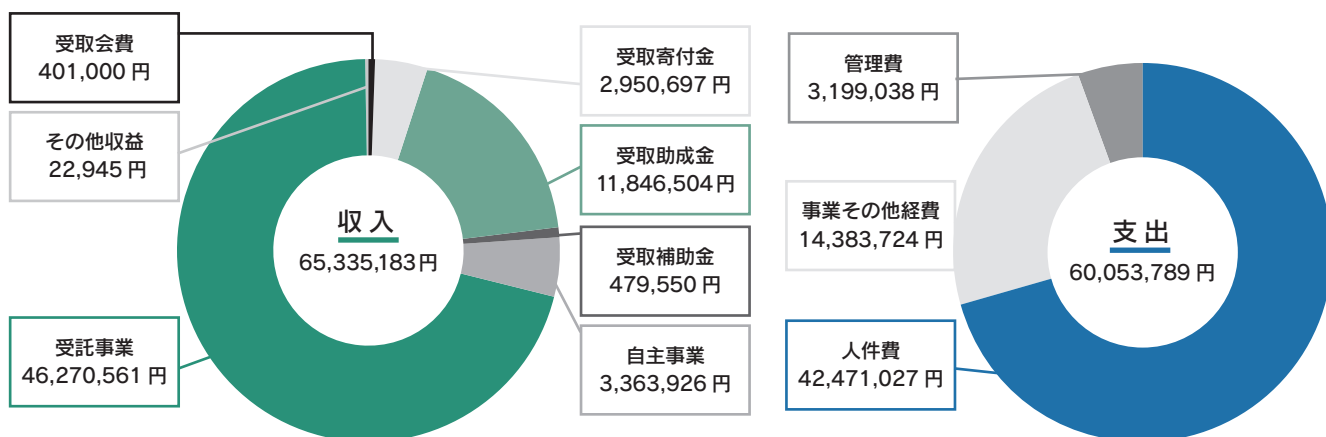


▲ まちあるきのあと、気付きを共有するワークショップ

※住民自治協議会：地区の特性を生かした活動を総合的に行う住民主体の自治組織

※農村 RMO (Region Management Organization)：農用地保全や農業を核とした経済活動に加え、生活支援を含む地域コミュニティ維持に取り組む組織

● 2023年度財政状況 ●



詳しい財政状況は
ホームページから
ご覧ください



多くみなさまからのご寄付により活動を続けられています。
ありがとうございます！！

会員・寄付を募集しています！！

長野県 NPO センターは民間の中間支援組織です。1999 年 4 月に設立され、2024 年 4 月に 25 周年を迎えました。さらなる成長のため、組織基盤の強化を図り、2024 年度認定 NPO 法人の取得をめざします。私たちが大切にしているのは、「人」と「つながり」です。25 年の歩みを止めずに、行政や民間が強みを生かしながらかみ取り組む協働と市民参加の力により良い未来をつくるため、地域に寄り添う事業を長く続けていくために、継続してご支援をお願いします。

会員種別と年会費

- 正会員 10,000 円 (入会金 20,000 円)
- 賛助会員 (個人) 3,000 円
- 賛助会員 (団体・法人) 6,000 円

● マンスリーサポーター (継続寄付) をお考えの方はこちら

Syncable



HP



< 役員 > (2024 年 5 月 18 日現在)

代表理事: 亀垣嘉明 / 常務理事: 山田千代子 / 監事: 小川和子

理事: 阿部今日子・市原綾子・岩崎恵子・岡田義彦・佐藤尚治・清水嘉人・松村隆

特定非営利活動法人長野県 NPO センター

〒381-0034 長野市高田 1029-1 エンドウビル 1 階

TEL 026-269-0015 FAX 026-269-0016

URL <https://www.npo-nagano.org>

Mail info@npo-nagano.org